

【調査課速報】高島市鴨・安曇川町三尾里 ^{てんじんばた}天神畑遺跡・^{かみごてん}上御殿遺跡

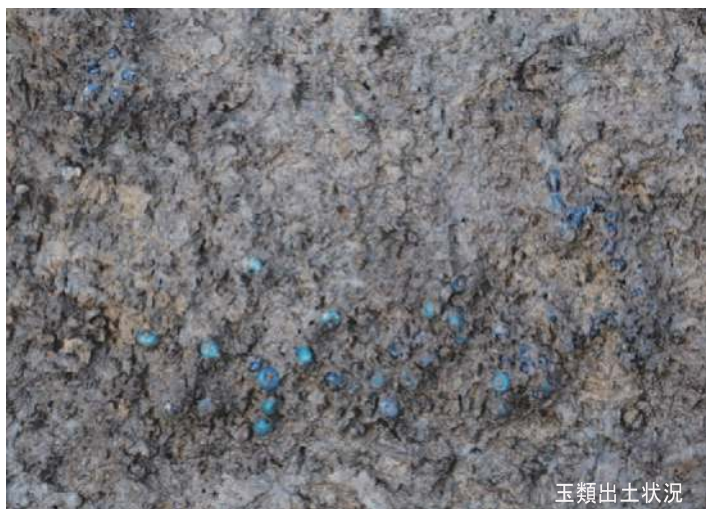
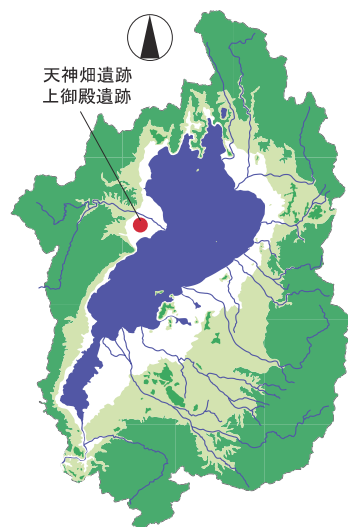
高島市の古代を探る！

高島市鴨から安曇川町三尾里にかけて広がる天神畑遺跡・上御殿遺跡では、平成20年度から発掘調査を行っています。これまでに古墳時代の大壁造り建物や中世馬具などの興味深い資料がみつかり、その内容は、現地説明会やホームページ、この「おうみ文化財通信」などでお知らせしてきました。

平成23年度は2,450㎡を対象に調査を行い、上御殿遺跡で古墳時代から平安時代にかけての遺構・遺物を確認しました。主な遺構には、古墳時代の木棺墓、古墳時代前期の竪穴住居6棟、奈良時代後半から平安時代初頭の掘立柱建物4棟、平安時代後期の大規模な掘立柱建物1棟などがあります。

古墳時代前期の住居には一辺約8mの規模をもつ大きな住居があります。住居からは、石製紡錘車や鉄製鎌などが出土し、この集落の盟主層の住居と考えられます。また、奈良時代後半から平安時代初頭の建物は、2間×2間の総柱建物4棟がL字形に配置され、高島郡域の地方官衙を特徴づける倉庫群と考えられます。平安時代後期の7間×6間の大規模建物は、在地領主層の建物の可能性があります。

このように、今年度の調査では、これまであまり知られていなかった高島市の古代史を明らかにする、興味深い資料を得ることができました。



古墳時代前期から中期につくられたと考えられる木棺墓は、木棺そのものは残っていませんでしたが、2.95m×1.02m・深さ0.35mの墓壇内に、組合せ式木棺が納められていた痕跡を確認しました。

木棺の内部からは、硬玉製勾玉1点、ガラス製小玉82点が出土しました。出土状況から、これらは首飾りとみられ、身に着けた状態で埋葬されたものと考えられます。

一般的に、このような木棺墓は一定の群を形成することが多く、土器などが副葬される程度ですが、今回の場合、単独墓の可能性が高く、しかも、古墳に葬られる階級の人を持つような装身具(玉類)がみつかったという特徴があります。これらの調査結果は周辺地域の古墳文化や木棺墓の性格を考える上で、貴重な成果と言えます。

「体験タイムトラベル・古代へ GO!」

■毎年恒例となりました、イオンモール草津さんとのコラボ企画。今年のテーマは、”大人から子どもまで楽しめる「体験タイムトラベル」”！昨年度は3日間で4,000人超の方に見学していただきました。



古代へ GO !

～3つのトラベルで古代の暮らしを探ろう！～

- ◇トラベル1 土の中からみつかった古代のハンコ（銅印）の模造品を使ったクイズ・スタンプラリーで、古代の暮らしを探ろう！
- ◇トラベル2 1,000年の時を経て消えつつある古代の文字を、赤外線カメラでバッチリ解読！
- ◇トラベル3 日本最古の本格的通貨「和同開珎」の模造品製作を見てみよう！
わどうかいちん

✿トラベル参加者には、抽選で和同開珎の模造品ゲットのチャンスが！ご家族・お友達とお誘い合わせの上、どうぞ皆様でお越しください。

▼展示会のようす（平成22年度）



古代のハンコ（模造品）

【展示内容】彦根市六反田遺跡をはじめ滋賀県内でみつかった、奈良～平安時代の国印（模造品）・和同開珎・墨書土器・木簡・まじない札などを予定しています。

日時：平成24年2月11日（土）・12日（日）10:00～16:30
場所：イオンモール草津 2階イオンホールと周辺通路（草津市新浜町300）

参加費：無料

申込：事前申込み不要

問合先：財団法人滋賀県文化財保護協会

TEL 077-548-9780 / FAX 077-543-1525

*日程以外は、都合により一部変更の場合もあります。内容の詳細は、お出かけ前に当協会ホームページでお確かめ下さい。
http://www.shiga-bunkazai.jp/



滋賀県埋蔵文化財センター研究会 - 最新の発掘調査から -

「土の中から歴史が見える」11

■今年度も滋賀県内各地でいろいろな発掘調査が行われました。その中から、特に重要な発見があった遺跡の選りすぐりの調査成果を、実際に調査を担当した調査員が映像をまじえて、わかりやすく紹介します。

～県内の最新調査成果が1日でわかる！～

日時：平成24年3月24日（土）9:30～16:30

場所：コラボしが21 3階大会議室

（大津市打出浜2丁目1番）

入場料：無料（事前申込み不要）

問合先：滋賀県埋蔵文化財センター

TEL 077-548-9681 / FAX 077-548-9682

*恒例となりました研究会ですが、今年度の会場は「コラボしが21」です。お間違えなく。

◀研究会のようす（平成22年度）





■「発掘調査のもう一つの現場」ともいえる整理調査場所を公開しています。整理作業を間近に見て・ふれることができる遺物展示や作業体験、整理調査成果をいち早く知ることができる報告会を行っているのが、「あの遺跡は今！」です。

冬の陣の今回は、じっくり聞いていただく整理調査成果報告会をメインに、寒さや吹雪に負けず、多数ご参加いただけるよう、ちょっと「通好み」を目指して準備をしています。お楽しみに・・・！

◇埋蔵文化財整理調査成果報告会

3月末に報告書が刊行される湖南省針氏城遺跡等の成果報告のほか、高島市針江浜遺跡等の湖底・湖岸遺跡を中心に考古学からみた地震と人とのかわりについて特別報告を行う予定です。

◇整理室公開

【遺物展示】

報告会で取り上げた遺跡の出土品のほか、整理調査中の宇佐山遺跡などの出土遺物がケース越しではなく、間近に見ることができます。

☆五輪塔の中に化石発見!? …真実はその目で確かめてください。

【作業体験】

ホンモノの出土遺物や作業道具を使った調査体験で、考古学を味わってみませんか。

日 時：平成 24 年 2 月 19 日（日）

整理室公開 9:00～17:00

報告会 13:00～15:00

会 場：滋賀県立安土城考古博物館内

整理室公開 1階整理室

報告会 2階セミナールーム

入場料：無料（博物館展示見学は入館料が必要です。）

問合先：財団法人滋賀県文化財保護協会 調査整理課 TEL 0748-46-4861



昨年度の遺物展示のようす



＊お得情報！

博物館の展示も取り込んだクイズラリーもあります。全問正解者には、景品を差し上げます。



昨年度の成果報告会のようす



今年度夏の作業体験のようす

滋賀県立安土城考古博物館 特別企画～東日本大震災復興祈念～

「清盛の時代と近江」

県立安土城考古博物館
イメージキャラクター



新年から始まる大河ドラマの主人公・平清盛が活躍した時代の、近江の歴史に迫ります。（平成 24 年 1 月 5 日～3 月 31 日開催）

■連続博物館講座：いずれも博物館 2 階セミナールームにて。定員 140 名当日先着順 / 300 円（資料代等）



◇1月 7日（土）13:30～

「佐々木一族の躍進と源平合戦」/ 高木叙子（安土城考古博物館）

◇1月 14日（土）13:30～

「近江における藤末鎌刃の造形」/ 山下立（安土城考古博物館）

◇1月 21日（土）13:30～

「清盛も湖水の魚に舌鼓？」/ 大沼芳幸（安土城考古博物館）

◇1月 28日（土）13:30～

「平家滅亡の年、琵琶湖を津波が襲った」/ 横田洋三（滋賀県文化財保護協会）

◇2月 4日（土）13:30～

「平経正、『竹生島』で秘曲を奏す」/ 大沼芳幸（安土城考古博物館）

◇2月 11日（土）13:30～

「安土・景清・源平盛衰に因む草木」/ 西田謙二（安土城考古博物館）

◀日本百傳「平清盛」

開 館：9:30～17:00（入館は～16:30）

＊月曜休館。月曜日が祝日・振替休日の場合は翌日休館。

入場料：大人 400 円（特別陳列・企画展開催中は 450 円）・高生 250 円（小中学生無料）

＊団体割引等有。

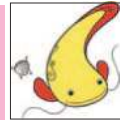
問合先：滋賀県立安土城考古博物館
TEL 0748-46-2424

▶滋賀県立安土城考古博物館では、ほかにいろいろなイベントを開催中。情報はホームページにも随時掲載しています。
☞ <http://www.azuchi-museum.or.jp>



【イベント情報】

みる・きく・ふれる <1~3月>



■財団法人滋賀県文化財保護協会主催事業■ 問合せ先：(TEL) 077-548-9780 / (FAX) 077-543-1525

日程	時間	イベント名	定員	予約	参加費	会場（集合場所）
1/13(金)~4/27(金) (予定)	—	展示 平成23年度JR大津京駅構内展示 第4回テーマ展示「調査員の逸品」	無	不要	無料	JR大津京駅構内展示場
2/11(土)・12(日)	10:00~16:30	展示 「体験タイムトラベル・古代へGO!」	無	不要	無料	イオンモール草津 2階イオンホールと周辺通路
2/19(日)	(報告会) 13:00~15:00	講演 埋蔵文化財調査成果報告会「あの遺跡は今! Part14」	140 (先着順)	不要	無料	滋賀県立安土城考古博物館 2階セミナールーム
	(展示) 9:00~17:00		無	不要		滋賀県立安土城考古博物館 整理作業室

▲イベント情報はホームページにも随時掲載しております。☛ <http://www.shiga-bunkazai.jp/>

■滋賀県埋蔵文化財センター主催事業■ 問合せ先：(TEL) 077-548-9780 / (FAX) 077-548-9682

日程	時間	イベント名	定員	予約	参加費	会場（集合場所）
3/24(土)	9:30~16:30	講演 滋賀県埋蔵文化財センター研究会 「土の中から歴史が見える'11 ー最新の発掘調査からー」	250	不要	無料	コラボしが21 3階大会議室

▲イベント情報はホームページにも随時掲載しております。☛ <http://www3.ocn.ne.jp/~shiga-mc>

案内

【トピックス】平成23年度刊行・待望の新作！

発掘調査報告書の予約受付中



■平成23年度（平成24年3月）に刊行を予定している発掘調査報告書の予約を受け付けています。当協会が県内各地で行ったさまざまな遺跡の発掘調査の正式報告です。

◇ご予約・お引渡し

お電話でお申し込み下さい。☛ 財団法人滋賀県文化財保護協会総務課 TEL(077-548-9780)

また、当協会ホームページ上からもお申し込みいただけます。☛ <http://www.shiga-bunkazai.jp/>

＊報告書は刊行次第、メール便または送料着払いでお送りします。報告書の代金は同封いたします郵便局の振込用紙でお支払いいただきます。振込み手数料はご負担をお願いいたします。

◇販売価格

12月末頃に決定します。お電話、または当協会のホームページに掲載しますので、ご確認ください。

◇刊行報告書一覧

①岩瀬谷古墳群（湖南市）

平成23年度に調査を行った古墳時代後期の古墳群です。岩瀬川の上流部の谷間に立地します。横穴式石室を5基調査し、石室内からはガラス玉などがみつかりました。また、古代末から中世にかけて、古墳を含めて当該地点が生活の場として利用されていたことがわかりました。

②長福寺遺跡（甲賀市）

室町時代に戦火にあった長福寺に関連すると推定される溝・土坑等を確認しました。またあわせて同時期の灯明皿が大量にみつかりました。

③春日北遺跡（甲賀市）

近江産地の緑釉陶器窯6基を調査しました。そのうちの1基は、今まで知られていなかった導入期の窯で、緑釉陶器とあわせて灰釉陶器も焼いていたことがわかりました。

④針氏城遺跡（湖南市）

旧東海道沿いにつくられた中世城館で、堀跡などがみつかりました。また、調査地に近接する狐栗塚古墳群（19基）に関連すると考えられる遺物もみつかりました。

⑤日置前遺跡（高島市）

高島郡衙の候補地である遺跡です。調査地区は限られていましたが、掘立柱建物などがみつかりました。

⑥清滝寺遺跡・能仁寺遺跡（米原市）

近江の戦国時代を代表する名門京極家の菩提寺に関連する遺跡です。調査では、建物や五輪塔を枠として転用した井戸など、大がかりな造成をとまう寺院関連遺構がみつかりました。

⑦檀木原遺跡（大津市）

西大津バイパス拡幅工事に伴い再調査された瓦窯の報告書です。昭和49年～54年の調査でみつかった大津宮時代の窖窯1基、奈良～平安時代の平窯2基を再調査した結果、瓦窯が熱効率および窯の維持に配慮した選地を行っていることがわかりました。

⑧下川原遺跡（甲賀市）

縄文時代から鎌倉時代にかけての遺物がみつかりました。小規模な調査ながら当該時期の土地利用の形態を明らかにすることができました。

お問い合わせ・ご確認など ☛ 財団法人滋賀県文化財保護協会 TEL(077-548-9780) ☎ <http://www.shiga-bunkazai.jp/>

☆春日北遺跡、清滝寺・能仁寺遺跡に関しては、当協会ホームページで現地説明会の資料をみることができます。